

平成25年度高校生海外派遣事業

トリード・インターナショナルユースアカデミー2013

7月20日～8月6日の18日間、豊橋市の姉妹都市アメリカ合衆国オハイオ州トリード市で開催された、トリード・インターナショナル・ユース・アカデミー (IYA) に、(公財)豊川市国際交流協会と共催で、今年も高校生10名を派遣しました。参加高校生は、白井優毅、杉本葉奈、土井彩結美、中村空太、渡邊有香、渡辺梨紗 (以上豊橋市) 内田愛美、加藤良、杉浦郁真、林青以 (以上豊川市) 敬称略。

★募集・選考・事前研修

今年の2,3月、豊橋市と豊川市在住の高校1,2年生 (現在2,3年生) を対象に、公募で参加者を募集。書類審査、作文、日本語と英語による面接を経て応募者15名の中から、参加者を決定しました。

出発前にはホームステイの心得や英会話などを学ぶ研修会を行い、準備を進めました。



研修会で練習を重ねたソーラン節をIYAの皆さんに披露!

★アカデミーに参加

7月20日に中部国際空港を出発! 同日にデトロイト空港に到着し、各ホストファミリーからの温かな出迎えを受けました。



家族のような絆が深まったホームステイ

アカデミーのカリキュラムは22日からスタート。パキスタンのメンバーとチームを組み、グループで行動しながら、英会話やアメリカ文化・歴史について学ぶ他、トリード市内外を観光。休日はホストファミリーと過ごし、アメリカの生活を肌で感じました。

★2週間の体験を終えて

帰国後の8月22日、豊橋市副市長、豊川市市長、豊橋市国際交流協会会長へ体験を報告しました。文化や価値観の違う人たちと触れあい、多くのことを学んだようです。主な感想は次のとおり。



参加高校生の皆さん、最終日涙のお別れの時

- ・アメリカ、パキスタンなど他国の人と友達や家族になれた。これからも友情をつなげていきたい。
- ・海外で働きたいという夢が強くなった。
- ・世界の広さを実感。自分の小ささを知り、まだまだ成長できると思った。
- ・親元を2週間離れ、親のありがたみを感じた。
- ・英語で言いたいことが伝えられず悔しい思いをした。もっと英語を勉強しようと思った。
- ・パキスタンやサウジアラビアの人と触れ合い、先進国だけでなく、彼らの国や世界情勢に興味を持つようになった。
- ・日本について知らないことがあることに気付いた。もっと日本の文化を調べて、伝えられる人になりたい。
- ・ホストマザーから、「私の息子」と言ってもらえた時は、嬉しくて泣きそうになった。
- ・2週間は短い! もう一度参加したい。

【トリード・インターナショナル・ユース・アカデミー】

トリード国際姉妹都市協会による、同世代の青少年との交流を通じて相互理解を築くカリキュラムを盛り込んだプログラム。トリード市の姉妹都市等に呼びかけ、今年も日本、パキスタンの生徒が参加。滞在期間中はホームステイを通してアメリカの生活を体験。豊橋・豊川両市からの参加は、今回で11回目となる。

65
がゆふ

ゆたかな地域社会
づくりに奉仕する



地元とともに――

蒲郡信用金庫

理事長 竹田知史

蒲郡市元町5番8号

☎ <0533> 69-5311 (代)
<http://www.gamashin.co.jp/>

「とよしん」は、ずっとこの街といっしょです。



おたくも うちも

豊橋信用金庫

理事長 吉川一弘

豊橋市小畷町579番地 ☎ (0532) 52-0321 (代)
<http://www.toyo-shin.co.jp>



外国人児童アフタースクール事業を実施

現在、豊橋市内の小学校には多くの外国人の児童・生徒（主に日系ブラジル人）が通学しています。その中には、日本の生活になかなかなじめず、日本語の授業が難しいなど、学習や生活に悩みを抱えている生徒も含まれ、多くの子どもたちが支援を必要としています。

そこで、外国人が多く住む豊橋市内の10校区で、地域の人々がボランティアとなり、夏休みに日本語や学習支援などを行う「外国人アフタースクール事業」を実施しました。（今年で7回目）

【実施期間】 7月22日～8月28日（各校区で3～10日間開催）

【実施校区】 岩田、汐田、多米、岩西、石巻、中野、飯村、栄、幸、二川

【開催状況】 小学校や校区市民館を会場に、校区住民や地域の大学、高校生など、たくさんのボランティアの方たちが、夏休みの宿題や日本語学習のサポートを行いました。



外国人による国際理解教育

当事業は、同じ地域に住む外国人と生徒が直接ふれあい、共に学び相互交流を図り、異文化への理解を深め親しむ機会を提供するもので、市内の小中学校を対象に開催しています。



今年度を実施した事業のうち、9月17日(火)、岩西小学校での活動内容を紹介します。

小学6年生を対象に、ブラジル人、タイ人の講師から遊びや料理作りなど、身近なものからそれぞれの自国のお話を聞き、お互いの文化の違いや共通点を学びました。

また、豊橋にも様々な国の人が住んでいることを知り、言葉もちがう日本で生活するために頑張っていること、異なる文化を持った人たちと共に生きていくことについて考えました。

タイの文化体験

ことば、礼儀（マナー）、有名なお祭りの紹介など日本と比較しながら学習しました。

また、タイの子どもたちの遊びをタイ語のみで教えてもらい、みんなで想像しながら体験しました。



タイのお風呂事情の紹介

ブラジルのお菓子づくり

ブラジルのお菓子といえば、練乳をつかった甘いものが定番。

生地が熱さにびっくりしながらも、みんなで協力してお菓子づくりを楽しみ、できあがったお菓子を試食しました。



ハートにキュン！ 親・近・感！



豊橋商工信用組合

理事長 加藤 満

豊橋市前田町一丁目9番4
TEL (0532) 53-2828

旅でつながる
家族の思い出



感動のそばに、いつも。

スタッフ・支店イベント・おすすめ情報公開中！
HPをクリック!!

JTB中部 豊橋

検索



JTB中部 豊橋支店

440-0881 豊橋市広小路1-31
TEL:0532-54-9111 (10:00～18:00) (定休日:水曜日・祝祭日)